

## 特定非営利活動法人「防災のことは研究会」

### 「伝える」から「伝わる」へ

★8月26日（金）関東地区 平成28年度・第3回研究発表会・勉強会

★9月10日（土）関西地区 平成28年度・第2回研究発表会・討論会

### 土砂災害が多発しています！

土砂災害警戒区域にお住まいの方って？・・・うちはどうだったかな？土砂災害警戒区域とか、土砂災害危険箇所、土砂災害警戒情報、などなど難しい漢字がたくさん並んだ言葉が、テレビやラジオで使用されています。しかし、聞き手には自分の住まいがどの地域に入っていて、現在、どのくらい危険なのか、なかなか伝わってきません。



先日「日本文体論学会」の年次大会の研究フォーラム「災害と文体—災害社会学・言語学の観点から防災・減災・復興を考える—」を聴講してきました。この研究会と同じ問題意識をお持ちの先生方のお話はたいへん興味深く、中でも、最初は日本語教育の分野で、日本在住外国人のために始まった「やさしい日本語」運動は、災害発生時日本人にとっても重要な考え方であり、たいへん参考になりました。今後、この研究会でも、「やさしい日本語」を研究されている先生や、活動をされている市民の方のお話を聞く機会を持ちたいと思います。

今回、8月26日の関東での研究会では、初めての試みですが、2つの勉強会を計画しております。

#### （1）防災に役立つインターネットサイトとスマホのアプリ勉強会

本年より当研究会の賛助会員になっていただきました、一般財団法人日本気象協会のメディア・コンシューマ事業部コンシューマ事業課の安野加寿子氏に防災に役に立つ気象情報のインターネットサイトやアプリを、実際にパソコンやスマホを使用しながら教えていただきます。様々な災害発生前後、このようなインターネットサイトやアプリが多くありますが、私たちは十分活用しているとは言えません。私たちがまず勉強して使えるようになりましょう。

#### （2）NLPによる「効果的なコミュニケーション法」ワークショップ

NLPという最先端の心理学にもとづいて、企業や団体におけるコミュニケーション・トレーニングなどを実施されている、有滝功氏（株式会社イサオファクトリー代表取締役）に、効果的なコミュニケーションについてのワークショップの授業をお願いしました。NLP公式ホームページには以下のような説明があります。NLPの理論は、この研究会の「災害時・緊急時の効果的なコミュニケーション」を考える上で非常に役立つと考えられます。是非皆さんご参加いただき、聞き手の立場に立った情報提供のコツを学びましょう。

○NLPとは・・・Nuero Linguistic Programming（神経言語プログラミング）の略で、別名「脳の取り扱い説明書」とも呼ばれる、最先端の心理学。1970年代に開発され、現在ではすでに「第3世代」と言われる最新のスキルが主流となり、セラピーやカウンセリングの現場だけではなく、人生全般に素晴らしい効力を発揮するとされて、世界の各界トップレベル層が学んでいることで知られています。NLPは、最強のコミュニケーションの手法として極めて優れており、同時に目標達成や自己成長にも大きな効果をもたらします。では、NLPの卓越したコミュニケーションスキルとはどのようなものでしょうか。「NLPの前提13項目」にはこうあります。「相手のフィールドに入る、相手の反応が、自分のコミュニケーションの成果である。」まずNLPでは相手を尊重する、理解することが、コミュニケーションにおいて最も重要なことだと説いているのです。この考えに基づき、NLPでは相手との信頼関係を構築する手法、そして信頼関係を築き上げることを学び、行った上で様々なスキルを使うこととしています。





## 平成28年度 関東地区 第2回研究発表会（勉強会）

日時：8月26日（金）  
18：00～20：00

場所：東洋大学白山校舎8号館1階  
地域連携推進室（研修室）

[https://www.toyo.ac.jp/room/index\\_j/c/hakusan/b/8/](https://www.toyo.ac.jp/room/index_j/c/hakusan/b/8/)

### 1. 「防災に役立つインターネットサイトとスマホのアプリ勉強会」

担当： 安野加寿子（やすのかずこ）氏  
所属： 一般財団法人 日本気象協会  
メディア・コンシューマ事業部  
コンシューマ事業課

内容：「いざという時に」はもちろん、「日ごろから」役立つ気象情報等の入手方法をご紹介します。

### 2. NLPによる「効果的なコミュニケーション法」ワークショップ

担当： 有滝功（ありたきいさお）氏  
所属： 株式会社イサオファクトリー代表取締役  
内容： 人の情報の出し入れの癖の違いが、コミュニケーションを難しくすることがあります。VAKモデルというもので楽しく解説させていただきます。防災にも役立ちます！



## 入会案内

### 入会案内：

入会条件は特にありません。  
災害の時の情報の伝達について、  
問題意識のある方なら、どなたでも入会頂けます。

#### 【会員の特典】

- 1 研究会、シンポジウム等のイベント参加費無料（研究発表の権利）
- 2 情報交換のためのメーリングリストに登録。
- 3 研究会の出版物、論文集の無料配布（投稿の権利）

※詳しくはホームページをご覧ください。

## 平成28年度 関西地区 第2回研究発表会（研究会）

日時：9月10日（土）  
15：00～17：00

場所：関西大学千里山キャンパス  
5号館（E棟）E207教室

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>

※正門をくぐって左にあがる坂をひたすらのぼり、下りになったつきあたりのL字路をそのL字なりに右にいったところに該当の学舎があり、その2階が教室です。

テーマ：  
「災害情報研究に言語学を応用するために」  
徹底討論会

ファシリテーター：新井恭子（当 NPO 理事長）

○阪神淡路大震災以降、災害情報学会も設立され、災害情報伝達の研究は盛んになりました。しかし、国内外、災害情報を言語学の枠組みで研究する研究者は少ないのが現実です。情報を正確に伝えるためには、まず「ことば」の研究が重要です。今回は参加者全員がパネリストとなり、言語学応用の方法論を徹底討論したいと思います。



### 参加費用

会員：無料  
非会員：1,000円 学生：500円  
（お茶とお菓子を用意します。）

### 懇親会

研究会終了後、大学近くで食事会を行います。  
当日参加希望者を募ります。

## 連絡先

### 連絡先：

特定非営利活動法人（NPO）

「防災のことば研究会」

理事長 新井恭子

E-MAIL：[arai-k@bousainokotoba.com](mailto:arai-k@bousainokotoba.com)

HP：<http://www.bousainokotoba.info>